

## お詫びと訂正

雑誌『腎と透析』84 巻 1 号 (2018 年 1 月号) の p.29-39「透析用カテーテル留置手技」(宮田昭 先生)におきまして、表組に誤りがございました。下記のとおりお詫びして訂正いたします。

### 【誤】 p.33 表の最上列 (右列)

林寺 (メドコンプ)
バイオ・フレックス テシオカテーテル
(以下の間の 6 行 略)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10Fr タイプ</li> <li>・ カテーテル有効長 : 18, 21, 25, 28 cm</li> <li>  *カテーテル先端からカフまでの距離</li> <li>・ ウロキナーゼコーティング</li> <li>・ エンドホール形状</li> <li>・ シースイントロデューサーの入り口部分に逆止弁があり、血液曝露、エア混入を軽減。</li> <li>・ シースイントロデューサー、セルジンガーのどちらでの留置手技にも対応したキット</li> </ul>
(以下の 4 行 略)

### 【正】 p.33 表の最上列 (右列)

林寺 (メドコンプ)
バイオ・フレックス テシオカテーテル
(以下の間の 6 行 略)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6.5Fr タイプ</li> <li>・ カテーテル有効長 : 12 cm</li> <li>  *カテーテル先端からカフまでの距離</li> <li>・ 10Fr タイプ</li> <li>・ カテーテル有効長 : 18, 22, 27 cm</li> <li>  *カテーテル先端からカフまでの距離</li> <li>・ エンドホール形状</li> <li>・ 1 本ずつ、カテーテル留置するため、低侵襲</li> </ul>
(以下の 4 行 略)

### 【誤】 p.34 表の下から 2 列目 (左から 2 列目)

林寺 (メドコンプ)
スプリットストリームカテーテル
(以下の間の 6 行 略)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6.5Fr タイプ</li> <li>・ カテーテル有効長 : 12 cm</li> <li>  *カテーテル先端からカフまでの距離</li> <li>・ 10Fr タイプ</li> <li>・ カテーテル有効長 : 18, 22, 27 cm</li> <li>  *カテーテル先端からカフまでの距離</li> <li>・ エンドホール形状</li> <li>・ 1 本ずつ、カテーテル留置するため、低侵襲</li> </ul>
(以下の 4 行 略)

### 【正】 p.34 表の下から 2 列目 (左から 2 列目)

林寺 (メドコンプ)
スプリットストリームカテーテル
(以下の間の 6 行 略)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4.6×5.1(mm) タイプ</li> <li>・ カテーテル有効長 : 19, 23, 27, 31 cm</li> <li>  *カテーテル先端からカフまでの距離</li> <li>・ エンドホール形状</li> <li>・ 先端が一般的なエンドホールとは異なり、位置が離れるように裂けている仕様になっている</li> </ul>
(以下の 4 行 略)

### 【誤】 p.34 表の下から 3 列目 (左から 3 列目) の 9 行目 (「特徴」の行)

- ・ カテーテル有効長 : 24, 28, 32 cm

### 【正】 p.34 表の下から 3 列目 (左から 3 列目) の 9 行目 (「特徴」の行)

- ・ カテーテル有効長 : 19, 23, 27 cm

### 【誤】 p.34 表の下から 4 列目 (左から 4 列目) の 9 行目 (「特徴」の行)

- (8Fr タイプの) ・ カテーテル有効長 : 18, 24 cm
- (12.5Fr タイプの) ・ カテーテル有効長 : 28, 32 cm

### 【正】 p.34 表の下から 3 列目 (左から 3 列目) の 9 行目 (「特徴」の行)

- (8Fr タイプの) ・ カテーテル有効長 : 15, 21 cm
- (12.5Fr タイプの) ・ カテーテル有効長 : 23, 27 cm